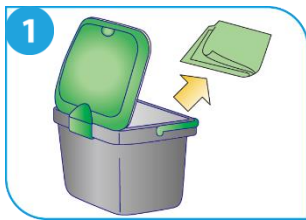


マイクロクイックの使用方法

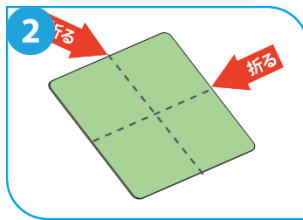


基本的なルール

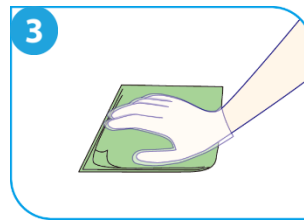
1. 部屋ごとや一定の面積の作業でクロスをきれいなものに交換します
2. 最もキレイな部分から清掃を始め、汚れた部分を最後に終わめます
3. トイレや洗面台の清掃後は同じクロスを再使用しないでください
4. 手の脂分をとりますので、手袋を着用して作業してください



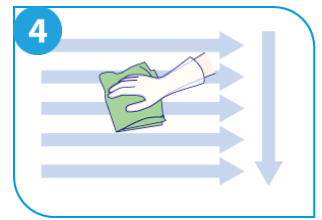
ボックスから折りたたんだクロスを取り出す



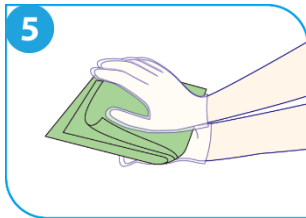
クロスは常に4つ折りにして使用する



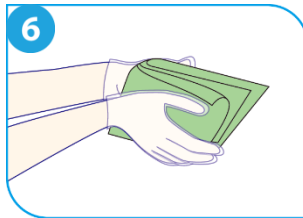
クロス全体に手を置いて、きれいな所から汚い所へ拭く



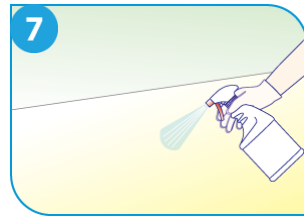
頻繁に触れる所を清潔に仕上げる場合、クロスはゆっくりと一方向に拭く



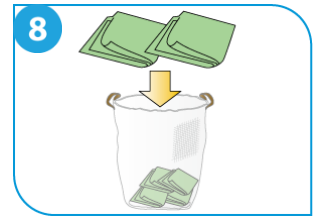
クロス面が汚れたら、折り返して、きれいな面で拭く。
きれいな所から汚い所へ、拭く所が変わる場合もきれいな面に折り返す



全8面のうち最大6面まで折り返し拭く
面を使い終わったら、きれいなクロスに交換する

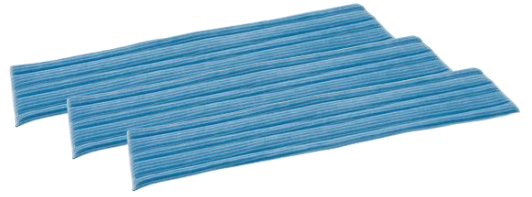


頑固な汚れがある場合、洗剤を塗付し、上の③に従って、クロスで拭く



使用後のクロスは、洗濯用のランドリーバックに入れる

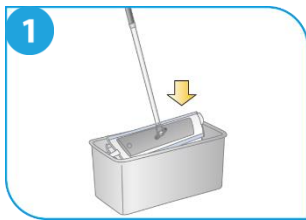
ダンプモップの使用法



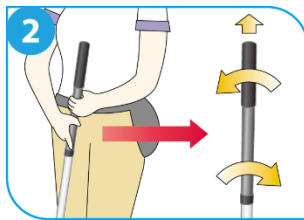
基本的なルール

スタンダードダンプモップは病室、廊下、処置室など多くのエリアで使用します

1. 部屋ごとや**一定の面積の使用**でモップをきれいなものに**交換**します
2. 最も**キレイな部分**から清掃を始め、汚れた部分を最後に拭きます
3. トイレの清掃後は同じ**モップを再使用しない**でください



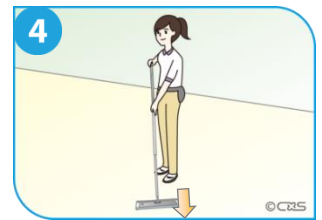
モップボックスにモップヘッドを押し付けて、モップを取り付ける



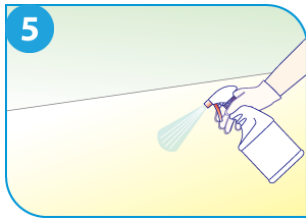
モップハンドルを快適な高さ(胸の高さ程度)に合わせる
ハンドルは左に回すと緩まり、右に回すとロックする



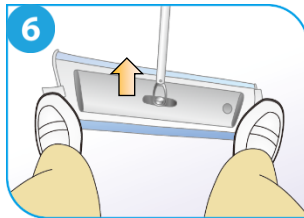
力が伝わるように、モップハンドルの上部先端を手で握るように持ち、もう一方の手でハンドルの上から押さえるような姿勢をとる



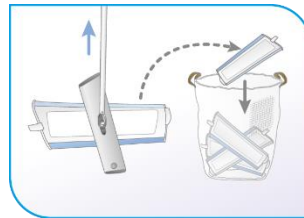
きれいなエリアの**奥から手前**に、**前方向(一方向)**にモップを押しながら、床を清掃する



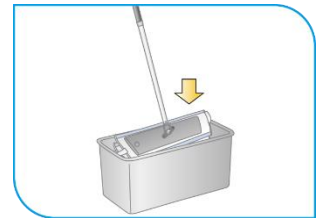
頑固な汚れが床面にある場合は、モップに足をつけてこするか、洗剤を床面に塗布し、拭きとる



モップの交換は、モップの両端を足で踏み、両手でハンドルを上方に持ち上げて、モップを外す



床からモップを持ち上げる場合は、モップに対して横にモップヘッドを置いて、取り上げる
※使用後はランドリーネットに入れて洗濯する



きれいなモップに、一定の面積毎で交換する。

オキシビルファイブ希釈方法

【加速化過酸化水素 4.25%】

清掃のポイント

- 製品の保証期間は、製造後2年間です
- スプレーボトルに希釈した液は、約1ヶ月使用できます

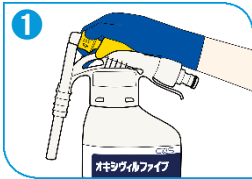
使用ツール



注意事項

- 塩素系タイプの洗剤と一緒に使う(混ぜる)と有害な塩素ガスが出て危険です
- 希釈液が直接手に触れないよう、使用する前には必ず手袋を着用してください
- 液が目に入ったら、すぐ水で洗ってください
- 希釈液は定期的に濃度チェックをしてください。(別紙、過酸化水素濃度測定法マニュアルを参照)

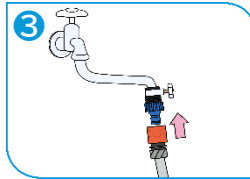
作業手順



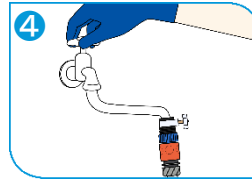
用途に応じた希釈
ダイヤルに合わせる



ホースをオキシビル
ファイブに取り付ける



ホースを蛇口に取り
付ける



蛇口を全開に開く



レバーを押して、希
釈液を必要量出す

希釈倍率と用途・使用例



16倍

糞便など

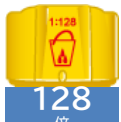
- ※院内清掃上で必要となる高度な殺ウイルス・バクテリアへの対応
- ※血液、体液処理は病院側と相談の上使用



64倍

便器・浴室

- ※汚染の可能性が高いが、リスクが低い殺ウイルス・バクテリアの洗浄



128倍

日常の除菌清掃

- ※洗面台・ガラス・手すり・ドアノブ
- ※水回り等



256倍

日常の軽い清掃 (床面)



水



止

オキシヴィルファイブ「過酸化水素濃度」測定法

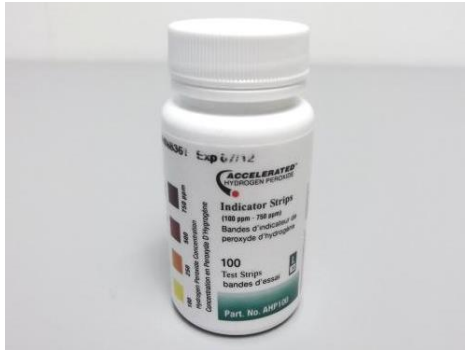
説明と注意事項

1. 希釈保存液の過酸化水素濃度を測定でき、除菌・除ウイルス効果の有無を確認します。
2. 測定方法は容器に印字の「濃度・色見本」を比較して測定します。
3. 試験紙は100枚入りで、1ケースあたり100回の濃度測定が可能です。
4. 手袋、保護メガネを着用して作業してください。

製品名「AHP 100 Test Strips」

「濃度・色見本」

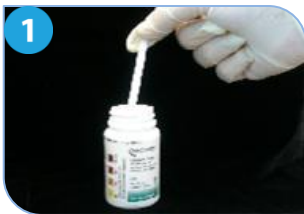
オキシヴィルファイブ
過酸化水素濃度



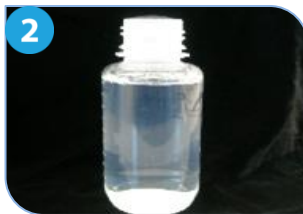
色見本	過酸化水素濃度
	750ppm
	500ppm
	250ppm
	100ppm

希釈倍率	過酸化水素濃度
16倍	2,700ppm
64倍	670ppm
128倍	340ppm
256倍	170ppm

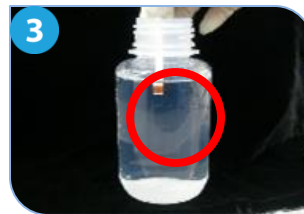
*色見本は実際の容器の色を参考にしてください。



1 容器から試験紙を1枚取り出す。



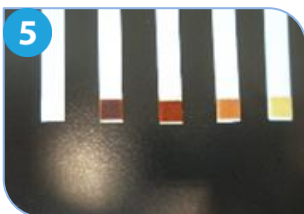
2 希釈液を小分け容器に移す。



3 試験紙を容器の中に入れ、30秒間程度濡らす。
※必ず測定面を濡らしてください



4 試験紙を取り出し、容器の「濃度・色見本」と比較し、過酸化水素濃度を測定します。



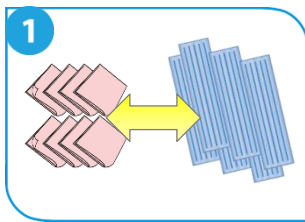
5 測定は必ず10分以内で終了してください。
※試験紙の色は経時で変色します。

マイクロファイバーの洗濯方法

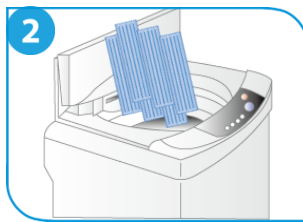


基本的なルール

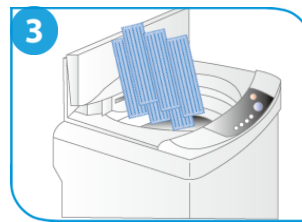
1. 汚れ落とし用のブラシは繊維を傷つけない柔らかい目のものを使用してください
2. 粉せっけん、柔軟剤、漂白剤は使用しないでください
3. 温水洗浄の場合は95度まで、乾燥機を使用する場合は60度までとしてください



汚れをブラシで軽く除去後、モップとクロスに分けて洗濯する



洗濯する量は洗濯機で定められた最大重量の60%までとして、洗濯機に投入する

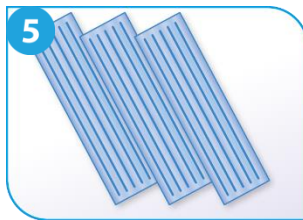


汚れが多い場合は、水だけで予洗いをを行う

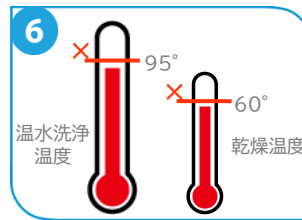
製品名	1枚の重量
マイクロクイック	50g
ダンブモップ40	80g
ダンブモップHDモップ40	150g
ドライモップ40	60g
プロHDドライモップ40	80g



洗濯重量3kgに対し、マイクロファイバーウォッシュ40ml投入し、15分洗浄する



すすぎ+脱水後、乾燥させる



乾燥機を使用する場合は60度までの温度で行う

【マイクロファイバーウォッシュ】

アルカリ製品のため、液はね等に充分ご注意ください

- 洗濯機の使用方法に従い洗濯します

	水量(洗濯物)の目安	使用量の目安
洗濯機 全自動 二層式	45L(3.0kg)のとき	40mL
	65L(6.0kg)のとき	60mL

【通常清掃】トイレ(便器)の除菌・洗浄

清掃のポイント

- 患者様に配慮して拭き上げを行う
- 汚染がある箇所をまず初めに処理する
- 清拭は1方向にて、汚れをふき取るように行う
- 清拭はきれいな個所から汚い個所へ清掃する
- 清拭は適宜でクロス清掃面を換える

注意事項

- オキシビルファイブは酸性の液体なので、塩素系を混ぜないでください
- 清掃作業前、作業後には必ず手指衛生を行う
- 体液を処理する場合、必要に応じてゴーグル・エプロン等の防護具を着用する
- 天然石、アクリル・ポリカーボネートなどの樹脂、銅・真鍮などの金属の洗浄を避ける

使用ツール



128倍



作業手順



1

手指衛生を行う



2

手袋を装着する



3

クロスボックスより、オキシビルファイブ128倍が含浸された黄色クロスを取り出す



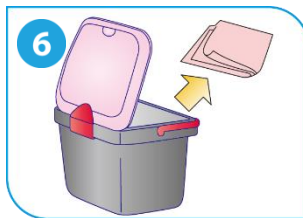
4

温水洗浄座座面を拭く



5

ドアノブ→手すり→スイッチ類→ペーパー周辺の順で拭く



6

クロスボックスより、オキシビルファイブ128倍が含浸された赤色クロスを取り出す



7

便器内へトイレ洗剤(中性)を塗付する



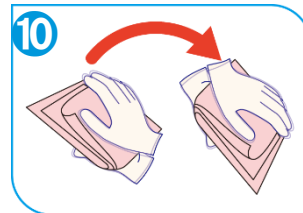
8

柄付きスポンジで洗浄し、その後すぐ



9

便座裏面、洗浄ノズル、便フチの順で拭く



10

適時クロス面を換えたり、クロスを交換して作業してください



11

手袋を外す



12

手指衛生する

【日常清掃】病室

ドアノブ・スイッチ・手すり・洗面台などの除菌、洗浄

清掃のポイント

- 患者様に配慮して拭き上げを行う
- 汚染がある箇所をまず初めに処理する
- 清拭は1方向にて、汚れをふき取るように行う
- 清拭はきれいな個所から汚い個所へ清掃する
- 清拭は適宜でクロス清掃面を換える

注意事項

- オキシビルファイブは酸性の液体なので、塩素系を混ぜないでください
- 清掃作業前、作業後には必ず手指衛生を行う
- 体液を処理する場合、必要に応じてゴーグル・エプロン等の防護具を着用する
- 天然石、アクリル・ポリカーボネートなどの樹脂、銅・真鍮などの金属の洗浄を避ける

使用ツール



128倍



作業手順



1

手指衛生を行う



2

手袋を装着する



3

クロスボックスより、オキシビルファイブ128倍が含浸された青色クロスを取り出す



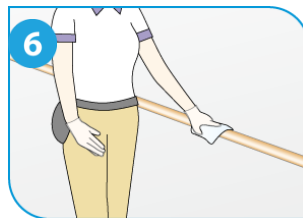
4

ドアノブを拭きます



5

スイッチをふきます



6

手すりふきます



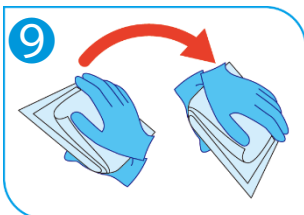
7

鏡を拭きます



8

洗面台を拭きます



9

適時でクロス面を交換したり、クロスを交換して作業してください



10

手袋を外す



11

手指衛生をする

床清掃(目に見えて汚れがない床)

清掃のポイント

- 患者様に配慮して拭き上げを行う
- 汚染がある箇所をまず初めに処理する
- 清拭は1方向にて、汚れをふき取るように行う
- 清拭はきれいな個所から汚い個所へ清掃する
- 清拭は適宜でクロス清掃面を換える

注意事項

- オキシビルファイブは酸性の液体なので、塩素系を混ぜないでください
- 清掃作業前、作業後には必ず手指衛生を行う
- 体液を処理する場合、必要に応じてゴーグル・エプロン等の防護具を着用する
- 天然石、アクリル・ポリカーボネートなどの樹脂、銅・真鍮などの金属の洗浄を避ける

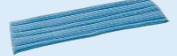
使用ツール



256倍

スタンダード
ドライモップ

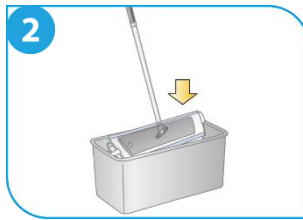
スタンダード
ダンプモップ



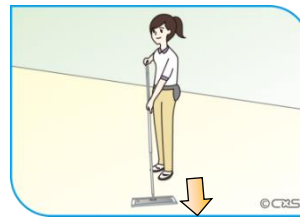
作業手順



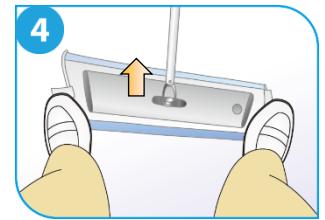
1 作業に応じて、スタンダードドライモップで除塵します



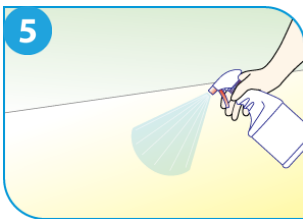
2 オキシビルファイブ256倍が含浸されたスタンダードダンプモップを取り付けます



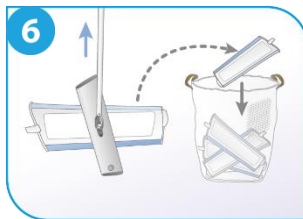
3 清掃エリアの奥から手前に、前方向(一方向)にモップを押しながら、床を清掃する



4 モップの交換は両端を足で踏み、両手でハンドルを上方向に持ち上げて、モップを外す



5 頑固な汚れが床面にある場合は、モップに足をつけてこするか、洗剤を床面に塗布し、拭きとる



6 使用済みのモップを洗濯用袋に入れます

床清掃 (手術室など体液で目に見えて汚れている床)

清掃のポイント

- 汚れがある箇所をまず初めに処理する
- 清拭は1方向にて、汚れをふき取るように行う
- モップは適切な頻度できれいなモップに交換する
- 入退室の回数を極力減らす
- 使用した清掃用具は、必ず消毒を行う

使用ツール



64倍

スタンダード
ダンブモップ

16倍



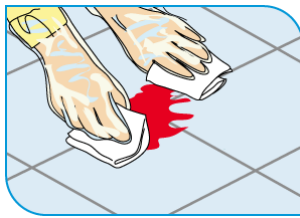
注意事項

- オキシヴィルファイブは酸性の液体なので、塩素系を混ぜないでください
- 床面がワックス処理されている場合は、最後に水拭きを行ってください
- 清掃作業前、作業後には必ず手指衛生を行う
- 体液を処理する場合、必要に応じてゴーグル・エプロン等の防護具を着用する

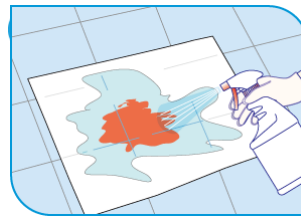
作業手順



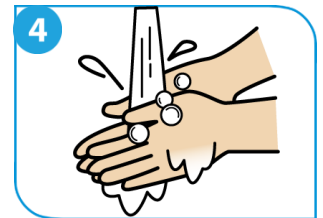
1
使い捨て手袋を着用します。ユニフォームが汚れるような場合には、エプロンを着用します



2
体液を使い捨てペーパー等に染み込ませ、できるだけ除去後、手袋を交換します。
※凝固剤により、体液を凝固させる事ができます



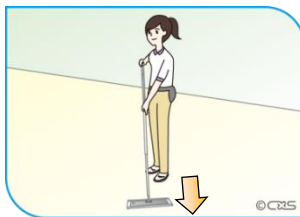
3
新しい手袋を着用し、残った体液とその周囲をオキシヴィルファイブ16倍を浸しながら、数回清拭する



4
体液除去後、液体せつくと流水で手洗いをします



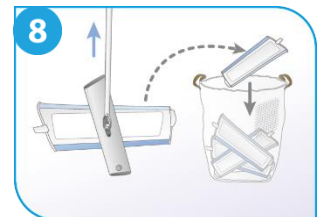
5
オキシヴィルファイブ64倍が含浸されたスタンダードダンブモップを取り付けます



6
床面が洗剤でしっかりぬれるように、一方向で拭き上げます



7
床面がワックス処理されている場合は、水拭きを行います



8
使用したモップは感染性のリネンとして扱い、ビニール袋に入れ、口を閉めて保管、移動します。
※使用した个人防护具は感染廃棄物として取り扱います
※退室前に手袋を外して手洗いをしてください

【感染症病室】

ドアノブ・床頭台・手すり・洗面台などの除菌、洗浄

清掃のポイント

- 病棟清掃において感染症病室の清掃は、一番最後に行う
- 感染症病室の清掃は看護師からの指示に従い行う
- 入退室の回数を極力減らす
- 使用した清掃用具は、必ず消毒する

使用ツール



64倍



注意事項

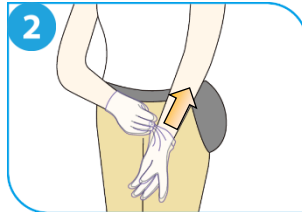
- オキシビルファイブは酸性の液体なので、塩素系を混ぜないでください
- 清掃作業前、作業後には必ず手指衛生を行う
- 体液を処理する場合、必要に応じてゴーグル・エプロン等の防護具を着用する
- 天然石、アクリル・ポリカーボネートなどの樹脂、銅・真鍮などの金属の洗浄を避ける

作業手順



1

手指衛生を行う



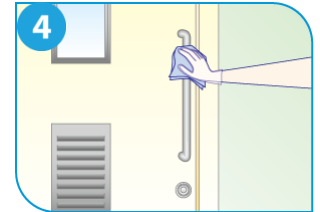
2

感染経路別感染対策に応じた個人防護具を着用する



3

クロスボックスより、オキシビルファイブ64倍が含浸された青色クロス取り出す



4

ドアノブを拭きます

※適時、クロス面を交換してください



5

床頭台をふきます

※適時、クロス面を交換してください



6

手すりをふきます

※適時、クロス面を交換してください



7

鏡を拭きます

※適時、クロス面を交換してください



8

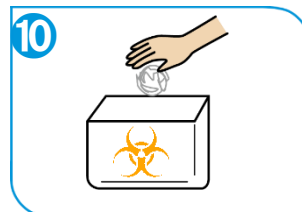
洗面台をふきます

※適時、クロス面を交換してください



9

手袋を外す



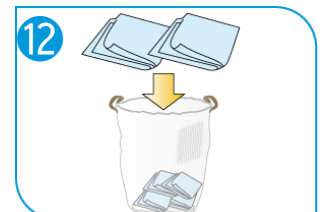
10

外した手袋を病室内の感染性廃棄物ボックスへ廃棄し、退室する



11

手指衛生をする



12

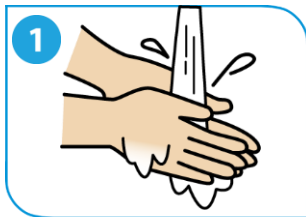
使用したクロスは感染性のリネンとして扱い、ビニール袋に入れ、口を閉めて保管、移動します

流水による手洗いの手順

基本的なルール

1. 手洗い＝液体石鹸と流水による手洗い
2. 手洗いは、腕時計や指輪を外してから行う
3. 最低**15秒間**両手を擦り合わせる
4. タイミングは

- ①目に見える汚れがあるとき
- ②全ての清掃作業後
- ③ノロウイルス、芽胞菌に接触した疑いがある場合
- ④食事の前
- ⑤排泄の後



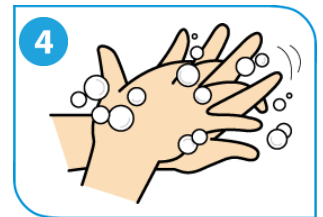
表面の汚れを落とすため、流水で十分に手を洗い流す



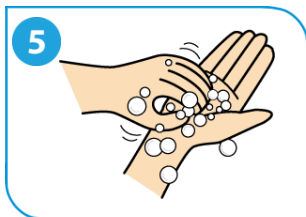
石鹸を一定量手にとり出す



石鹸を泡立て、手のひらをこすり合わせ、指の間をこする



手のひらと手背の指を組み、指の間をこする。(両手)



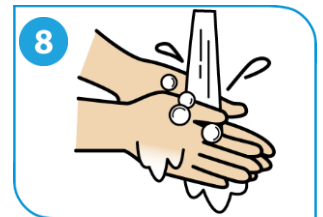
お互いの指先と爪を手のひらでこする



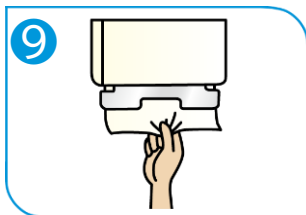
親指をそれぞれネジリ洗い(両手)



手のひらで手首の周りをそれぞれネジリ洗い(両手)



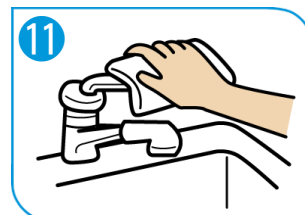
流水で十分に手を洗い流す



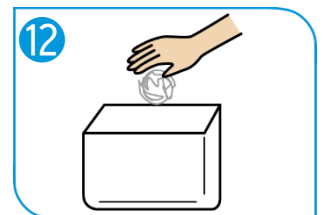
ペーパータオルを引き出す



手のひら、手背、指、爪などペーパータオルで十分に水分をとる



ペーパータオルを持ったまま、蛇口の水を止める



ペーパータオルを捨てる

擦式消毒薬による手指消毒の手順

基本的なルール

1. 手洗消毒＝擦式消毒薬による手指の消毒又は手指洗浄消毒薬と流水による消毒
2. 手指消毒は、腕時計や指輪を外してから行う
3. 手が乾くまで15秒間以上擦り合わせる十分な量を手に取る
4. タイミングは

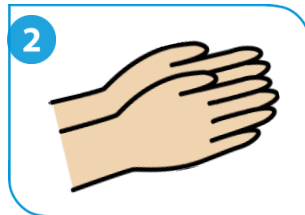
①血液、体液、排泄物と接触した場合

②手袋やガウンなどを外した後

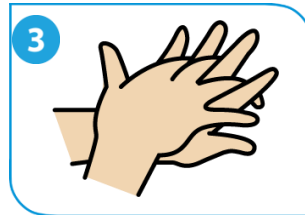
③患者周辺の環境表面などに触れる前・後



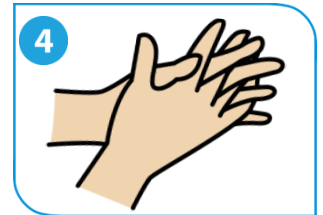
1 適量(3ml程度)の手指用アルコールを手のひらに受け取る



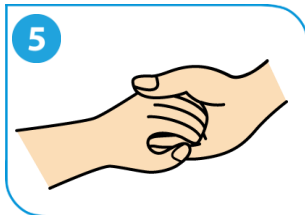
2 手のひらと手のひらをこすり合わせる



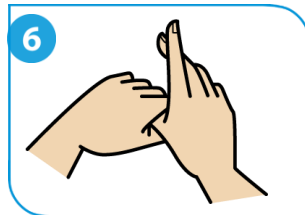
3 手背で指を組み、右の手のひらを左の手背上にして指の間をこする。(両手)



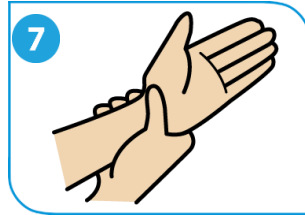
4 手のひら同士に手を組んで指の間をこする



5 両手の指を(連結器のように)連結し、指の背部をお互いの手先を手のひらでこすり合わせる



6 右の手のひらで左の親指を握って回転させてネジリこする(両手)



7 手のひらで手首の周りをそれぞれネジリこする(両手)



8 乾くまで15秒くらいこすりこむ



9 15秒以内に乾いた場合は、再度アルコールを追加する

「除菌・洗浄剤」清掃作業マニュアル

使用洗剤

1.5L
オキシビルファイブ

使用ツール

マイクロファイバークロス
ジヨンスターダンプモップ

使用上の注意

酸性タイプ 塩素系と併用不可

- 塩素系の製品と一緒に使う(混ぜる)と有害な塩素ガスが出て**危険**。
- 目に入ったらすぐ水で洗う。
- 必ず炊事用手袋を使用する。
- 子供の手に触れないように注意する。

※ご使用前に必ず製品ラベルに表示されている「使用上の注意」をよくお読みください。

希釈方法

- STEP 1: ホースを蛇口に取り付ける
- STEP 2: 蛇口を全開に開く
- STEP 3: 用途に応じた倍率のダイヤルをまわす
- STEP 4: レバーを押す

嘔吐物・糞便・血液などの処理	浴室・トイレ清掃	日常の清掃	日常の軽い清掃		
16倍	64倍	128倍	256倍	水	止

清掃箇所	清掃頻度 希釈倍率	希釈ツール	作業方法
テーブル ドアノブ 手すり 洗面台	毎日 128倍	スプレーヤーに希釈 	<ol style="list-style-type: none"> 1. マイクロファイバークロスに希釈液を噴霧する。 2. 対象面に30秒間、乾かない程度塗布する。
床	毎日 128倍 256倍	スプレーヤーに希釈 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ダスタークロスもしくはドライモップ等で防塵する。 2. スタンダードダンプモップに希釈液を適量噴霧する。 3. 8の字もしくは一定方向に床面を拭き上げる。(前進方向)
トイレ (便器)	毎日 64倍	スプレーヤーに希釈 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 希釈液を便器に噴霧する。 2. トイレブラシで洗浄し、すすぐ。
トイレ (便器)	毎日 64倍	スプレーヤーに希釈 	<ol style="list-style-type: none"> 1. トイレ専用マイクロファイバークロスに希釈液を噴霧する。 2. 対象面に30秒間、乾かない程度に塗布する。
浴室	毎日 64倍	バケツに希釈 	<p>※作業中・作業後は窓を開けて換気する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 希釈液にスポンジを浸す。 2. 浴室内をスポンジ洗浄する。 3. 流水ですすぎ、乾燥させる。
嘔吐物処理 血液処理	随時 16倍	スプレーヤーに希釈 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 使い捨て手袋、マスク、エプロン、保護メガネを着用する。吐物が広い範囲に広がっている場合は、靴カバーを着用する。 2. 汚染場所に関係者以外を近づけないようにする。 3. ペーパータオル等で外側から内側に向けて拭き取り面を折り込みながら拭き取り、密閉して処分する。 4. 希釈液を染み込ませたペーパータオル等で覆い、浸して拭き上げ、5分以上置いてから水拭きする。